

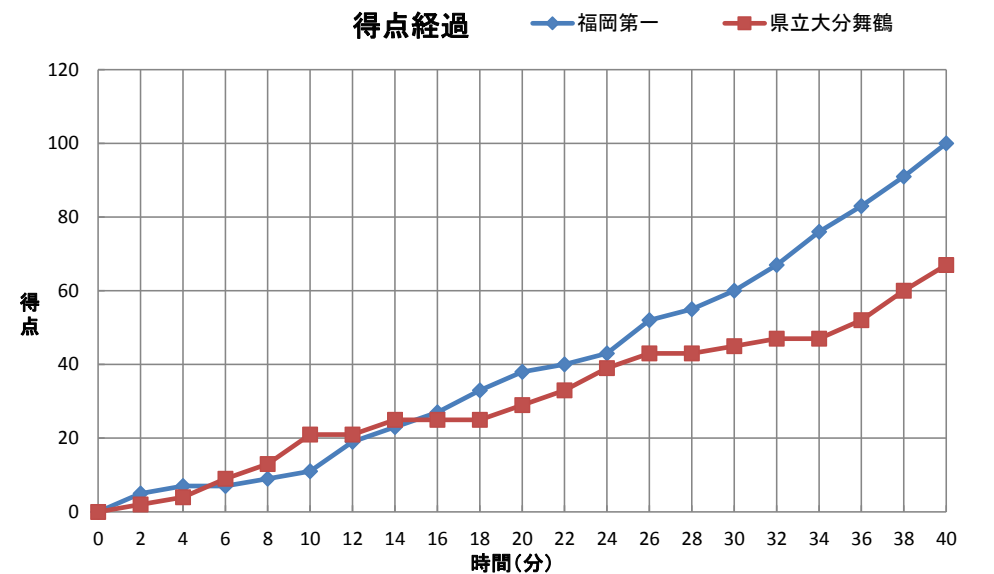


平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子							平成27年7月30日 13:20 開始						
2 回戦							島津アリーナ C						
◎ 福岡第一 100 (福岡県)							67 県立大分舞鶴 (大分県)						
11 1st 21 27 2nd 8 22 3rd 16 40 4th 22													
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	武藤 海斗	13	3	2	0	2	* 4	香川 泰斗	11	0	5	1	1
5	竹内 大冨	2	0	1	0	2	* 5	スミス 安努隆	9	0	4	1	1
6	草野 亜怜	4	0	2	0	1	6	石川 智章	0	0	0	0	0
7	張 効広	7	0	3	1	1	7	佐藤 淳哉	0	0	0	0	1
* 8	河野 佑太	10	0	5	0	3	* 8	大宅 聡樹	13	1	5	0	0
9	野中 貴仁	3	0	1	1	0	9	長谷川 聖	0	0	0	0	0
10	土居 光	2	0	1	0	1	10	吉良 知将	2	0	1	0	2
11	山邊 千春	13	3	2	0	0	* 11	木下 碧人	14	2	3	2	1
* 12	蔡 錦鈺	21	0	10	1	0	12	泥谷 椋平	0	0	0	0	0
* 13	重富 友希	10	0	3	4	0	13	蠣原 弘太郎	4	0	2	0	1
* 14	重富 周希	6	0	3	0	1	* 14	赤嶺 充希	12	0	5	2	1
15	松本 礼太	9	1	3	0	0	15	小野 駿斗	2	0	1	0	1
コーチ	井手口 孝					0	コーチ	齋藤 哲也					0
Aコーチ	今井 康輔						Aコーチ	田所 伸					
合 計		100	7	36	7	11	合 計		67	3	26	6	9
主審: 佐田 幸一													
副審: 仲地 祥吾													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	11:39	17:37	32:40	37:28	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕
一回戦を高さのあるディフェンスで勝ち上がった福岡第一と延長戦を制し波に乗る大分舞鶴の対戦。
第1P、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。開始当初、福岡第一は#12中心に高さを活かし、攻守にわたってリバウンドを制した。硬さのある両チームはターンオーバーを連発し、なかなか得点が伸びない、大分舞鶴は#5の確実なシュートでリードする。3分を切った所でお互いメンバーを入れ替え仕切りなおすも、大分舞鶴の勢いは止まらず、#5、#8、#4が得点を重ね、21対11大分舞鶴リードで第1P終了。
第2Pは、福岡第一が開始早々3連続ファーストブレイクで得点を縮め、たまた大分舞鶴がタイムアウトをとる。#7から#8、#8から#12への長身者同士のパス交換で攻撃する福岡第一だが、パスが思うようにつながらない。大分舞鶴も#5に対しタイトにつかれ、なかなか得点がとれない。流れを掴んだのはやはり福岡第一、ファーストブレイク中心に得点を重ね、また、オールコートマンツーマンプレスも決まり38対29福岡第一リードで前半終了。
第3P、何とか点差を詰めたい大分舞鶴は、開始早々2-2-1オールコートゾーンプレスから2-1-2のゾーンディフェンスとしかける、#14のシュートや#8のファーストブレイクなどで追い上げ、一時は3点差まで迫る。福岡第一もあわてることなく、ディフェンスのプレッシャーを強め、持ち前の走力を活かし、ラリーゲームを仕掛ける。なかなか得点できない大分舞鶴に対し、福岡第一は着実に得点を挙げ、#15の連続得点など、福岡第一が60対45でリードで終了。
第4Pもラリーゲームが続く、ややへばりの見える大分舞鶴に対し、長身者もどンドン走ってゴール下でシュートを決める福岡第一は点差をどんどんあけていく、残り数秒でシュートを決めた福岡第一は100対67で勝利した。
昨日の延長戦勝利の勢いによりうまく乗れた大分舞鶴だが、終盤は消耗激しく、福岡第一が走り勝ったゲームであった。

戦評: 佐々木 潔

記録: 南陽高校